



# Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3 リリースノート

Revised: May 11, 2006

Part Number OL-10808-01-J



(注)

この製品の以前のリリースでは、Cisco MeetingPlace for Outlook と呼ばれていました。Cisco MeetingPlace の製品名は Cisco Unified MeetingPlace に変更されました。レガシー製品、マニュアル、およびツール（下記で参照する Bug Toolkit など）には、この両方の名前が出現する場合があります。

これらのリリースノートには、当初の名前が Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3 であったリリースを含む、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3 のすべてのバージョンに関する情報が含まれます。

特に指定がない限り、最新のソフトウェア リリースには、以前のリリースのすべての変更が含まれます。



注意

ユーザの組織で、スケーラブル ソリューションを目的とする複数のサーバで Cisco Unified MeetingPlace for Outlook を実行している場合は、Release 5.3.0.132 をインストールしないでください。その代わりに、Release 5.3.0.138 以上をインストールします。

## 内容

このリリースノートの内容は次のとおりです。

- [概要 \(P.2\)](#)
- [システム要件 \(P.3\)](#)
- [関連資料 \(P.8\)](#)
- [新規情報および変更情報 \(P.8\)](#)
- [インストール通知 \(P.9\)](#)
- [警告 \(P.10\)](#)
- [技術情報の入手方法 \(P.18\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(P.20\)](#)
- [テクニカルサポート \(P.21\)](#)
- [その他の資料および情報の入手方法 \(P.23\)](#)

## 概要

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は、Cisco Unified MeetingPlace を Microsoft Outlook に統合します。Cisco Unified MeetingPlace の使用が容易になり、エンド ユーザは次の処理を実行できます。

- Cisco Unified MeetingPlace 会議通知を Microsoft Outlook の電子メール受信トレイで受信する
- 会議を Outlook の予定表に自動的に配置する
- 1 回のクリックで会議に参加する
- 使い慣れた Outlook インターフェイスを使用して会議をスケジュールする

この製品は、Cisco Unified MeetingPlace 製品ファミリのアドオン ソフトウェアです。

# システム要件

表1 システム要件

システム	要件
Microsoft Exchange Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Exchange Server バージョン 5.5 ( Service Pack 4 )、2000 ( Service Pack 2 )、または 2003 がインストール済みで稼動していること。</li> <li>• 関連する Exchange メールボックスがある Microsoft Windows ユーザ アカウントが必要です。このメールボックスは、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の Exchange メールボックスになります。次の警告が適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows ユーザ アカウントには、Local Administrator 権限が必要です。また、このアカウントのユーザ名とパスワードは、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook メールボックスのユーザ名およびパスワードと一致する必要があります。デフォルトの Microsoft Outlook メールボックスを設定する方法については、『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータ ガイド Release 5.3』を参照してください。Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をインストールするには、このアカウントを使用してログインします。</li> <li>- ログインしたユーザには、デフォルトの Outlook プロファイルへのアクセス権が必要です。</li> <li>- この Exchange メールボックスは、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をインストールする前に設定する必要があります。</li> <li>- Exchange サーバと Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サービス コンポーネントは、異なるシステム上に存在する必要があります。</li> </ul> </li> </ul>
Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ Audio Server	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の最小バージョンは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.218 の場合 : Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 5.3.0.33</li> <li>- Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.138 の場合 : Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3.0.32</li> <li>- Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.132 の場合 : Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3.0.31</li> <li>- Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0 の場合 : Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3.0</li> </ul> </li> <li>• 予定表およびオプション キーを有効にした Audio Server がインストール済みで稼動している必要があります。オプション キーを有効にする方法については、『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータ ガイド Release 5.3』を参照してください。</li> <li>• 複数の Cisco Unified MeetingPlace サーバがある場合、それぞれに独自の Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サーバが必要です。</li> </ul>

表1 システム要件（続き）

システム	要件
Windows サーバ（ハードウェア要件）	<p>すべてのインストールについて、次の項目を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をドメイン コントローラにインストールしないでください。</li> <li>• Cisco Unified MeetingPlace for Outlook では Cisco Security Agent がサポートされていないため、このサーバにインストールしないでください。</li> <li>• Cisco Unified MeetingPlace Audio Server への TCP/IP 接続が必要です。</li> </ul> <p>Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の新規インストールでは、次のいずれかが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Media Convergence Server（MCS）モデル MCS-7835H-3.0-IPC1、MCS-7835I-3.0-IPC1、または MCS-7845H-3.0-IPC1 で、オペレーティング システムのバージョン 2000.2.7 以上（Release 5.3.0.132 以上の場合）またはバージョン 2000.2.6 以上（Release 5.3.0 の場合）が稼動していること。</li> </ul> <p>Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.138 以上の場合：                      キャパシティを強化するために Cisco Unified MeetingPlace for Outlook が個別のサーバにインストールされている場合は、上記の要件に一致した 2 番目のサーバが必要です。</p> <p>古いバージョンの Cisco Unified MeetingPlace for Outlook からアップグレードする場合は、次の点が重要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しいサーバを含む展開では、Cisco MCS サーバを使用する必要があります。</li> <li>• 今後の Cisco Unified MeetingPlace リリースとの互換性を維持するために、新しくインストールする場合は Cisco MCS サーバ上にインストールすることが推奨されます。</li> <li>• アップグレードのお客様の場合は、ご使用のサーバが Cisco MCS 7835 サーバと少なくとも同程度の仕様を持つ HP または IBM と完全に同等であることを確認する必要があります。サーバが 50 ライセンス以上の Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing もホストしている場合、パフォーマンスの仕様は、Cisco MCS 7845 サーバの仕様と同等であることが必要です。</li> </ul>

表1 システム要件（続き）

システム	要件
<p>全インストールにおける Windows サーバのソフトウェア要件</p> <p>この表内の後続 2 行も 参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco MCS または Microsoft Windows サーバ上で、すべての機能または通知サービス以外の Client Services のみを使用する場合、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing ソフトウェアの適切なリリースが必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.218 の場合： Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3.447.0 以上</li> <li>- Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.138 の場合： Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3.333.0 以上</li> <li>- Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.132 の場合： Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3.235.0 以上</li> <li>- Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0 の場合： Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3.0 以上</li> </ul> </li> <li>• Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、内部（フルアクセス）インストールとしてインストールされ、プライマリ Cisco Unified MeetingPlace Web サーバとして稼動している必要があります。</li> <li>• Exchange メールボックスにログインするには、次の Microsoft Outlook クライアントの 1 つがインストールおよび設定されている必要があります。 Outlook 2003、Outlook 2000( Service Release 1 および Service Pack 3 )または Outlook XP ( Release 5.3.0 のみ )、Collaboration Data Objects ( CDO ) のインストールが必要です。CDO はデフォルトではロードされないため、セットアップ時にオプションとして選択する必要があります。</li> <li>• このコンピュータ上のデフォルトのメール クライアントを Outlook に設定する必要があります。</li> <li>• Outlook クライアントをローカル ドライブに完全にインストールする必要があります。ネットワーク インストールはサポートされていません。</li> <li>• Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は、「シン クライアント」( Citrix または Terminal Server ) をサポートしていません。</li> <li>• Windows ログインは、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サービスで指定されたログインと同じである必要があります。</li> <li>• Windows サーバと Exchange Server は相互に信頼関係がない場合、同じドメイン上に存在する必要がありません。</li> <li>• ディレクトリ サービスによる自動認証の場合、Network Credentials フィールドを読み込んで Cisco MeetingPlace Directory Services Release 5.3 以上 ( Release 5.3.0.132 以上の場合 ) または Cisco MeetingPlace Directory Services Release 4.2.7 以上( Release 5.3.0 ) をインストールする必要があります。自動認証の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータガイド Release 5.3』に記載されている ConfigClient ユーティリティの [Login] タブの説明を参照してください。Cisco Unified MeetingPlace ユーザ名は大文字と小文字を区別するため、すべてのログインは小文字で作成することを推奨します。</li> </ul>
<p>新規インストールの場合にのみ必要な Windows サーバのソフトウェア要件</p> <p>P.5 の「全インストールにおける Windows サーバのソフトウェア要件」も参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 2000 Server オペレーティング システムのシスコシステムズ バージョンとして、バージョン 2000.2.7 以上 ( Release 5.3.0.132 以上の場合 ) またはバージョン 2000.2.6 以上 ( Release 5.3.0 の場合 ) が必要です。MCS サーバのオペレーティング システムのインストールおよび設定の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータガイド Release 5.3』を参照してください。シスコが提供するオペレーティング システムのアップデートとパッチのみを適用してください。直接 Microsoft から入手して Cisco MCS サーバに適用された更新については、サーバの動作に悪影響を及ぼすためにサポートしていません。</li> </ul>

表1 システム要件（続き）

システム	要件
<p>アップグレードの場合にのみ必要な Windows サーバのソフトウェア要件</p> <p>P.5 の「全インストールにおける Windows サーバのソフトウェア要件」も参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows 2000 Server Edition または Advanced Server Edition（それぞれ Service Pack 2 以上を使用） または Windows 2003 Enterprise Edition。</li> <li>• 2.5 GB 以上の空き領域がある NT File System（NTFS）。</li> <li>• Microsoft IIS 5.0。</li> </ul>
<p>ネットワーク要件</p>	<p>Windows サーバが Cisco Unified MeetingPlace Audio Server と通信するためには、次の要件を満たす必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネットワークで接続された PCI 環境では、Windows サーバは、プライマリ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に接続するときにはポート 5003 で TCP 接続をオープンできる必要があります、追加の各 Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に接続するときにはポート 5005 でオープンできる必要があります。</li> <li>• スタンドアロンの PCI または 8100 シリーズを使用する環境では、Windows サーバは、ポート 5003 で TCP 接続をオープンできる必要があります、プライマリ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に接続するときにはポート 5005 でオープンできる必要があります。</li> <li>• Windows サーバと通信する場合、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の IP アドレスを、ネットワーク アドレス変換方式を使用して変換しない。</li> <li>• Windows サーバとホストの Cisco Unified MeetingPlace Audio Server 間の接続は高品質を保ち、トラフィックの輻輳によって中断しないようにする必要があります。往復の遅延が 100 ミリ秒以上になるか、1% を超えるパケット損失が発生すると、サービス品質が大幅に低下する可能性があります。</li> </ul>
<p>エンドユーザシステム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows ME、Windows 2000 Professional、Windows 2000 SE Service Pack 2、Windows 2000 AS Service Pack 2、Windows XP または Windows Server 2003。</li> <li>• Cisco Unified MeetingPlace for Outlook への HTTP 接続。</li> <li>•（Release 5.3.0.132 以上の場合）Microsoft Outlook 2000（SR 1）、XP、または 2003。</li> <li>•（Release 5.3.0 の場合）Microsoft Outlook 98（アーカイブパッチを使用）、2000（SR 1）、XP、または 2003。アーカイブパッチは、<a href="http://office.microsoft.com/downloads/9798/arch98en.aspx">http://office.microsoft.com/downloads/9798/arch98en.aspx</a> からダウンロードしてください。</li> <li>• Microsoft Outlook および Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のエンドユーザの要件を満たす CPU、ハードディスク容量、および RAM。</li> </ul>

## 互換性マトリクスおよびサポートするアップグレード

Cisco Unified MeetingPlace 製品の相互運用性については、『Cisco MeetingPlace インストレーション プランニングガイド Release 5.3』を参照してください。

## キャパシティ

### Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.138 以上

フル キャパシティで稼動する Cisco MeetingPlace Audio Server が 1 台の場合は、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サーバが 1 台あれば十分です。

MCS 7845 で稼動する Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は、1 時間あたり およそ 2700 ~ 5400 人のエンドユーザをサポートできます。ユーザが予定表の予定にアクセスするたびに Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の要求が生成されます。つまり、ユーザが Cisco Unified MeetingPlace 会議に関連付けられた予定表を開くか、予定表の [MeetingPlace] タブをクリックすると、要求が生成されます。使用頻度の高いユーザには 1 時間あたり 2 要求をプランニングする必要があります。

上記のガイドラインを超えて使用すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

公開されているキャパシティを最大限に利用して Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバを稼動することが想定される場合は、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook を別のサーバにインストールする必要があります。それ以外の場合は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing と同じサーバ上に Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をインストールしてください。

### Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.132

MCS 7845 で稼動する Cisco MeetingPlace for Outlook は、およそ 2700 ~ 5400 人のアクティブな予定表のユーザを同時にサポートできます。サポート可能なユーザ数はユーザの使用率に応じて異なります。この使用率は、予定表の予定が Cisco MeetingPlace for Outlook に関係するかどうかを問わず、平均的なユーザが予定にアクセスする 1 時間あたりの回数によって決まります。使用頻度の高いユーザには 1 時間あたり 2 要求をプランニングする必要があります。

これらのガイドラインを超えて使用すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

### Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3

Cisco MeetingPlace for Outlook Release 5.3 は、1 時間あたり最大で 2000 の同時 Outlook セッションをサポートできます。ユーザが Outlook の予定表のタイムスロットをダブルクリックすると (Cisco MeetingPlace 会議でこのタイムスロットが指定されているかどうかにはかかわらず) セッションが開始され、1 時間にわたって継続します。自身の組織でサポート可能な Outlook ユーザ数を、ユーザの使用パターンに基づいて見積もる必要があります。

## 関連資料

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の関連資料は、『*Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータガイド Release 5.3*』に記載されています。

## 新規情報および変更情報

この項では、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3 の各リリースの新機能および変更情報について説明します。機能の詳細については、『*Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータガイド Release 5.3*』を参照してください。

次に説明するすべてのリリースに新しい機能および変更が含まれています。

### Release 5.3.0.218

- Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は今リリースから日本語が使用可能になりました。
- 今リリースでは、Cisco MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime を使用してスケジュールされる会議通知は、これらのアプリケーションでサポートされる言語を使用して送信が可能になっています。

### Release 5.3.0.138

以前のリリースに比べて、サポート可能なユーザ数が大幅に増加しました。

### Release 5.3.0.132

Release 5.3.0.132 には新しい機能はありません。解決済みの警告は、P.13 の「[解決済みの警告](#)」に記載されています。

### Release 5.3.0

- Microsoft Outlook を使用した Cisco MeetingPlace ビデオ会議のスケジュールリングと参加のサポート
- 既存の Cisco MeetingPlace ユーザに対する Microsoft Windows 2003 サーバのサポート
- 新しいユーザ インターフェイスのカスタマイズ ツール

## インストール通知

次の該当する項を参照してください。

- [新しいインストール \(P.9\)](#)
- [今リリースへのアップグレード \(P.9\)](#)
- [すべてのインストール \(P.9\)](#)

### 新しいインストール

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の初回インストール時は、『*Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータ ガイド Release 5.3*』のインストール手順に従ってください。

このインストール手順は、次のサイトから参照できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products\\_administration\\_guide\\_chapter09186a0080334d24.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_administration_guide_chapter09186a0080334d24.html)

### 今リリースへのアップグレード

Cisco MeetingPlace for Outlook Releases 5.3、4.3、または 4.2.7 からアップグレードする場合、『*Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレータ ガイド Release 5.3*』の付録 B のアップグレード手順に従ってください。

このアップグレードの手順は、次のサイトから参照できます。

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products\\_administration\\_guide\\_chapter09186a0080334cff.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_administration_guide_chapter09186a0080334cff.html)

### すべてのインストール

Release 5.3.0.218 へのインストールまたはアップグレードが完了したら、ホット フィックス MPOL530219 をインストールすることを強くお勧めします。ホット フィックスの詳細については、TAC にお問い合わせください。P.21 の「[テクニカル サポート](#)」を参照してください。

## 警告

この項は、次の内容で構成されています。

- [Bug Toolkit の使用 \( P.10 \)](#)
- [Bug Toolkit の問い合わせの保存 \( P.11 \)](#)
- [解決済みの警告 \( P.13 \)](#)
- [公開済み警告 \( P.17 \)](#)

## Bug Toolkit の使用

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の警告に関する最新情報は、新しいオンライン ツールである Bug Toolkit から入手でき、自身の必要性に応じて障害について問い合わせることができます。



### ヒント

すべてのリリースのいかなるシビルティにおいても、公開済み警告または解決済みの警告を検索するために Bug Toolkit を使用する場合は、そのための Cisco.com ( Cisco Connection Online ) のアカウントが必要です。

Bug Toolkit にアクセスするには、[http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch\\_bugtool.pl](http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl) にログインします。

Bug Toolkit にアクセスするには、次のものがが必要です。

- インターネット接続
- Web ブラウザ
- Cisco.com のユーザ ID とパスワード

Bug Toolkit を使用する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** [http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch\\_bugtool.pl](http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl) に移動して Bug Toolkit にアクセスします。

Cisco.com ユーザ ID とパスワードでログインします。

**ステップ 2** [Launch Bug Toolkit] ハイパーリンクをクリックします。

**ステップ 3** 特定の警告に関する詳細を検索するには、[Enter known bug ID:] フィールドに ID 番号を入力します。

Cisco Unified MeetingPlace および Cisco MeetingPlace の警告をすべて表示するには、[Search for bugs in other Cisco software and hardware products] に移動して、[Product Name] フィールドに Cisco MeetingPlace と入力します。あるいは、製品名のリストをスクロールして [Cisco MeetingPlace] をクリックすることもできます。

**ステップ 4** [Next] をクリックします。[Cisco MeetingPlace] 検索ウィンドウが表示されます。

**ステップ 5** 警告を問い合わせるフィルタを選択します。使用可能なオプションの一部またはすべてを選択できます。

- a. Cisco Unified MeetingPlace (または Cisco MeetingPlace) のバージョンを次のように選択します。
  - メジャー リリースのメジャー バージョンを選択します。  
メジャー リリースには重要な新機能、機能拡張、アーキテクチャ上の変更、または修正された障害のいずれかまたはすべてが含まれています。
  - より詳細な情報を得るには特定のリリースを選択してください。  
リリース (メンテナンス) リリースは、本来、特定の問題を修正するための障害フィックスが含まれているものですが、新機能や機能拡張も含まれていることがあります。
- b. [Available] リストから問い合わせる機能やコンポーネントを選び ( Outlook を選択するなど )、[Add] をクリックして [Limit search to] リストに選択項目を追加することで選択を行ってください。
- c. 必要に応じて、警告のタイトルおよび説明を検索するためのキーワードを入力します。



**(注)** 詳細に特定しない問い合わせを行うには、メジャー バージョン / リビジョン、機能 / コンポーネント、キーワードの各オプションで、ワイルドカードの All を使用します。

- d. 次の項目を含む [Set Advanced] オプションを選択します。
  - [Bug Severity level] : デフォルトでは 1-3 を指定します。
  - [Bug Status Group] : 解決済みの警告に対しては [Fixed] チェックボックスをオンにします。
  - [Release Note Enclosure] : デフォルトでは [Valid Release Note Enclosure] を指定します。
- e. [Next] をクリックします。

Bug Toolkit は、問い合わせに基づいて警告のリストを返します。

- 異なる基準を使用した別の問い合わせを提出して、結果を変更することができます。
- 後で使用するために問い合わせを保存しておくことができます。P.11 の「Bug Toolkit の問い合わせの保存」を参照してください。



**(注)** Bug Toolkit のオンライン ヘルプに関する詳細については、任意の Bug Toolkit ウィンドウで [Help] をクリックしてください。

## Bug Toolkit の問い合わせの保存

Bug Toolkit では、特定の障害またはネットワーク状況を監視するための問い合わせを作成し、後に保存することができます。保存した検索は、アラート条件、監視中の障害、ネットワーク プロファイルを変更するためにいつでも編集することができます。

Bug Toolkit の問い合わせを保存するには、次の手順に従ってください。

### 手順

**ステップ 1** P.10 の「Bug Toolkit の使用」で説明した手順で警告を検索します。

**ステップ 2** 検索結果のウィンドウで、下部に表示される [This Search Criteria] ボタンをクリックします。

新しいウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [Name of saved search] フィールドに保存した検索の名前を入力します。

**ステップ 4** [My Bug Groups] で、次のオプションのいずれかを使用してバグ グループに障害を保存します。

- [Existing group] オプション ボタンをクリックして、ドロップダウン リスト ボックスから既存のグループ名を選択する。
- [Create new group named:] オプション ボタンをクリックして、ここで保存した検索用に新しいグループを作成する。



**(注)** このバグ グループには、保存した検索条件で識別されたバグが含まれます。新しいバグが検索条件と一致するたびに、システムによって選択済みのグループに追加されます。

Bug Toolkit はバグを保存して検索を実行し、[My Stuff] ウィンドウを通じてこれを使用可能にします。( [My Stuff] ウィンドウは既存のバグ グループまたは保存済みの検索を表示、作成、または変更することができます。すべてのバグ グループのリストを表示するには [My Stuff] リンクを選択してください)。

**ステップ 5** [Email Update] オプションからは、電子メールの通知に関するオプションのプリファレンスを選択してバグ ステータス変更の自動アップデートを受信することができます。Bug Toolkit には、次のオプションがあります。

- [Do NOT send me any email updates] : このデフォルト設定を選択すると、Bug Toolkit は電子メールの通知を送信しません。
- [Send my updates to:] : このオプション ボタンをオンにしてこのオプションを選択すると、このフィールドに入力するユーザ ID 宛てに電子メールの通知が送信されます。追加の通知オプションには次のものがあります。
  - [Updates as they occur] : Bug Toolkit はステータスに変更があるとアップデートを提供します。
  - [Weekly summaries] : Bug Toolkit は要約アップデートを週 1 回提供します。
- [Apply these email update options to all of my saved searches] : このチェックボックスをオンにすると、ユーザが保存したすべての検索に対して電子メールのアップデート オプションが使用されます。

**ステップ 6** 変更を保存するには、[Save] をクリックします。

**ステップ 7** 保存したバグ グループを表示したウィンドウが現れます。このウィンドウからバグ グループ名をクリックすると、バグと保存した検索を確認ことができ、検索基準を編集することもできます。

## 解決済みの警告

この項では、各リリースで修正済みの警告の一覧表を示します。それぞれの修正は、今後のすべてのリリースに適用されます。リストでは、各リリースで修正された最も重大な問題のみ記載しています。

- [Release 5.3.0.218 \( P.13 \)](#)
- [Release 5.3.0.138 \( P.14 \)](#)
- [Release 5.3.0.132 \( P.15 \)](#)



(注)

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing および Cisco Unified MeetingPlace Audio Server などの関連する Cisco Unified MeetingPlace or Cisco MeetingPlace 製品のリリースノートでも解決済みの警告のリストを参照してください。



ヒント

個々の障害の詳細については、表内の関連するリンクをクリックして、その障害のオンライン記録にアクセスしてください。

## Release 5.3.0.218

表 2 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.218 の解決済み警告

ID	見出し
CSCsd05305	Script error caused by Password Required WebPart <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd05305">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd05305</a>
CSCsd38415	Script error upon clicking Check Availability when hiding <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd38415">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd38415</a>
CSCsd16083	Allow Internet Access tag is not functional on templates for meetings scheduled using Cisco Unified Web Conferencing or MeetingTime software. <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd05305">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd05305</a>
CSCsd50334	Outlook form does not enforce password limit <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd50334">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd50334</a>
CSCsd69197	Cannot dial out from Cisco Unified MeetingPlace for Outlook with Video implementation <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd69197">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd69197</a>
CSCsd51600	User is prompted to log in each time <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd51600">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd51600</a>
CSCsd42306	Installer check for required Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing version <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd42306">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd42306</a>
CSCsd29199	Unable to copy a Cisco Unified MeetingPlace for Outlook <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd29199">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd29199</a>

**表 2 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.218 の解決済み警告（続き）**

ID	見出し
CSCsc63536	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Client form should not use VBScript <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc63536">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc63536</a>
CSCsd29497	Missing space in MeetingPlace information <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd29497">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd29497</a>
CSCsc84461	Notification for Cancelled/Rescheduled meeting is not sent <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc84461">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc84461</a>
CSCsd29731	Invited user unable to dial out from reservationless meeting <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd29731">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd29731</a>
CSCsc84457	Scheduling form contains random values instead of profile defaults <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc84457">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc84457</a>
CSCsd23935	Invitee is not redirected to main active Web Conferencing server <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd23935">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd23935</a>

**Release 5.3.0.138**

**表 3 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.138 の解決済み警告**

ID	見出し
CSCsc03095	User is repeatedly prompted for password <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc03095">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc03095</a>
CSCsc81337	Invitee cannot accept rescheduled meeting <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc81337">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc81337</a>
CSCsc81305	Details on appointment tab missing for rescheduled reservationless <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc81305">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc81305</a>
CSCsc66342	Recurring meeting gets converted to single meeting <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc66342">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc66342</a>
CSCsc59347	Alternate phone numbers are displayed incorrectly <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc59347">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc59347</a>
CSCsc58639	FlexFields are not being displayed <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc58639">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc58639</a>
CSCsc58624	'This is a MeetingPlace Meeting' text is missing <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc58624">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc58624</a>
CSCsc58086	Meetings in recurring list think they are current meetings <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc58086">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc58086</a>
CSCsc55447	Script error on opening past meeting from calendar <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc55447">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc55447</a>

表 3 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.138 の解決済み警告（続き）

ID	見出し
CSCsc10314	Outlook redirect on separate server <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc10314">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc10314</a>
CSCsb90679	Outlook notification header shows incorrect meeting start time <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb90679">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb90679</a>
CSCsb88222	Invited user cannot access MeetingNotes by outdial <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb88222">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb88222</a>
CSCsb55652	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook meetings show up as all day events in Blackberry devices <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb55652">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb55652</a>
CSCsb34308	Canceled meeting series from Outlook remains on the audio server <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb34308">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb34308</a>

## Release 5.3.0.132

警告番号	見出し
CSCsc01703	Cannot reschedule single instance of recurring chain
CSCsb87137	Unexpected error when deleting series
CSCsb75140	Some fields on a past meeting are not read only
CSCsb95239	Rescheduling backend meetings incorrectly updates calendar
CSCsb95290	Cancelled meetings do not get removed from calendar
CSCsb96381	Allow Internet Access strangeness
CSCsb72628	Script error when rescheduling a WebConnect rolled meeting
CSCee13016	Meeting doesn't cancel from server after password changed from Cisco MeetingPlace for Outlook
CSCsb85047	Script error when rescheduling recurring meeting series
CSCsb75155	Missing meeting details on appointment tab
CSCsb96374	Delegate cannot reschedule meeting
CSCsb21636	User interface is not the same
CSCsa64328	Outlook2003 meetings do not get deleted from server (for delegate)
CSCsa43953	Outlook Notification for reservationless meeting in WebConnect setup
CSCsb21438	Reservationless meeting does not know user profile
CSCsb90845	Extra secure area icon
CSCsb79872	MeetingPlace tab in notification points to wrong server
CSCsb88144	Meeting subject only contains Meeting ID
CSCIt21532	Recording field shows up on mpolschedule and Check Availability
CSCsb70925	Outlook notifications need formatting change
CSCsb68058	Clicking 'Call Me' gives session is stale
CSCsb67981	Session is stale from Meeting List page
CSCsb71525	Update browser test and reference center to shorter links

警告番号	見出し
CSCsb69183	Appointment tab is blank for reservationless meetings
CSCsb68824	Cannot reschedule meeting using drag and drop in Outlook calendar
CSCsb67646	No meeting details on Appointment tab for recurring meeting
CSCsb53662	MeetingPlace tab on Outlook backend notification 'Action canceled'
CSCsb62892	User appended meeting information is missing
CSCsb21416	Windows XP sp2 prompt to upgrade fails
CSCsb62190	MPNotify crashes when user profile language is set to Japanese
CSCsb62850	Notifications are sent many times for the same meeting
CSCsb64570	User cannot blank out date field. (on scheduling page)
CSCsb64250	Large number of invitees causes latency on slower links
CSClt23278	Too many session IDs
CSClt23123	SSL secure icon is missing for the series
CSCsb63385	Outlook->Tools->options: Version number not seen completely
CSCsa98489	Deploy MPOutlook client for more than 100,000 users
CSClt21155	4.2.7.65 Deleting reservationless meeting chain with exceptions
CSCsb60882	https is missing in NoShow notification
CSCsb50065	Active Meeting/Profile flex fields don't appear on Outlook pages
CSCsb21427	Meeting is deleted from the audio server if error during reschedule
CSCsb59758	SMA notifications show as improperly formatted when saved as RTF
CSCsb57699	OL support for scheduling recurring meetings w/o holes in WebConnect
CSCsb40515	Front end notification links contain wrong hostnames
CSCsb40288	The Test Browser and RC links in notifications do not show https
CSCsa91154	Meetings not deleted from server using 'actions - cancel meeting'
CSCsb34302	Rescheduling recurring meeting series from Outlook gives stale session
CSCsb53296	Single/Multiple notifications for recurring backend meetings
CSClt23035	Date field should not accept invalid date
CSCsa55328	Meeting info stays in users calendar after meeting is deleted
CSCsa89209	Who can access meeting notes setting challenge with login prompt
CSCsb22265	Invited users can reschedule/delete scheduler's meeting
CSCsa89187	Script error when selecting password field
CSCsb21300	Check Availability: First entry always shows conflict
CSClt22980	Uninstall backend only does not remove all registry keys
CSCsb41390	Script error clicking on conflict within check availability
CSCsb34282	Http 403 forbidden when clicking reference center link on cancel
CSCsb41518	SMS-Using setup option /admin does not populate the registry correctly
CSCsb28539	Frequency filed is blank / can't change anything on New appointment form
CSCsb22463	Cannot reschedule converted Outlook meeting
CSCsb09782	Check Availability link doesn't work on last day of the month in GMT
CSClt21491	4.2.7.71 Converting ordinary recurring outlook chain/wrong time

## 公開済み警告

この項では、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.218 で発生しうる予期しない動作について説明します。ここに記載するリストでは、公開されている中で最も重大な問題のみを取り上げています。

これ以外の公開済み警告については、5.3.0.218 以前のリリースを参照してください。



(注)

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing および Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に関する公開済み警告は、本製品の動作に影響を与える可能性があります。これらの製品のリリースノートでも公開済み警告のリストを参照してください。



ヒント

個々の障害の詳細については、表 4 の関連リンクをクリックして、対処法を含めたその障害のオンライン記録にアクセスしてください。

**表 4 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 5.3.0.218 に関する既知の問題**

ID	見出し
CSCse20628	CheckAvailability does not update the Outlook form <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse20628">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCse20628</a>
CSCsc88881	(JAPANESE ONLY) Name of invitee may be corrupted when scheduled from Cisco Unified Web Conferencing <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc88881">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc88881</a>
CSCsd97993	Hiding password required field disables password requirement <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd97993">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd97993</a>
CSCsd84214	Outlook client password invalid when password contains '&' <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd84214">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd84214</a>
CSCsd23854	Delegate cannot reschedule meeting with password <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd23854">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd23854</a>
CSCsd23576	End user delegate cannot reschedule from MeetingPlace tab <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd23576">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsd23576</a>
CSCsc55261	Unable to reschedule occurrence using drag and drop <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc55261">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc55261</a>
CSCsc17844	(JAPANESE ONLY) Attendant's name is garbled in Outlook 2003 schedule tab <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc17844">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsc17844</a>
CSCsb71073	Outlook calendar shows meeting that does not exist on the audio server <a href="http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb71073">http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/onebug.pl?bugid=CSCsb71073</a>

## 技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカルサポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

### Cisco.com

シスコの最新マニュアルには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

また、シスコの 各国語による Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

### Product Documentation DVD (英語版)

Product Documentation DVD は、技術情報を包含する製品マニュアルをポータブルなメディアに格納した、包括的なライブラリです。この DVD を使用することにより、シスコ製のハードウェアやソフトウェアのインストール、コンフィギュレーション、およびコマンドに関する複数のバージョンのマニュアルにアクセスできます。また、この DVD を使用すると、シスコの Web サイトで参照できるのと同じ HTML マニュアルに、インターネットに接続せずにアクセスできます。一部の製品については、PDF 版のマニュアルもご利用いただけます。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、または定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ (Cisco Direct Customers) の場合、次の URL の Cisco Marketplace から、Product Documentation DVD (Product Number DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB) を発注できます。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

### マニュアルの発注方法 (英語版)

Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store からシスコ製品の英文マニュアルを発注できるようになっています。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

## シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

## シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル ( 英文のみ ) を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このサイトからは、次の方法についての情報が検索できます。

- シスコ製品のセキュリティ脆弱性を報告する。
- シスコ製品に伴うセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品に関するセキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、セキュリティ応答の最新のリストには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティ上の注意事項、セキュリティ応答がアップデートされた時点でリアルタイムに確認する場合は、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication ( PSIRT RSS ) フィードに登録してください。PSIRT RSS フィードへの登録方法については、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_psirt\\_rss\\_feed.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html)

## シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、セキュアな製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前には内部でテストを行い、すべての脆弱性を早急に修正するよう努力しています。万一、シスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急の場合のみ: [security-alert@cisco.com](mailto:security-alert@cisco.com) ( 英語のみ )  
緊急とは、システムがアクティブな攻撃を受けている場合、または至急の対応を要する重大なセキュリティ上の脆弱性が報告されている場合を指します。これに該当しない場合はすべて、緊急でないと見なされます。
- 緊急でない場合: [psirt@cisco.com](mailto:psirt@cisco.com) ( 英語のみ )

緊急の場合は、電話で PSIRT に連絡することもできます。

- 1 877 228-7302 ( 英語のみ )
- 1 408 525-6532 ( 英語のみ )



### ヒント

シスコに機密情報をお送りいただく際には、PGP ( Pretty Good Privacy ) または互換製品 ( GnuPG など ) を使用して、暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 9.x の暗号化情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵には、Security Vulnerability Policy ページの Contact Summary セクションからリンクできます。次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/products\\_security\\_vulnerability\\_policy.html](http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html)

このページ上のリンクからは、現在使用されている最新の PGP 鍵の ID にアクセスできます。

PGP を持っていない、または使用していない場合は、機密情報を送信する前に前述のメールアドレスまたは電話番号で PSIRT に問い合わせ、他のデータ暗号化方法を確認してください。

## テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、シスコと正式なサービス契約を交わしているお客様には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

### Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web または電話でサービス リクエストを発行する前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して製品のシリアル番号を確認してください。CPI ツールには、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトから、Documentation & Tools の下の **Tools & Resources** リンクをクリックするとアクセスできます。アルファベット順の索引ドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下の **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールには、3 つの検索オプションがあります。製品 ID またはモデル名による検索、ツリー表示による検索、show コマンド出力のコピー アンド ペーストによる特定製品の検索です。検索結果では、製品が図示され、シリアル番号ラベルの位置が強調表示されます。ご使用の製品でシリアル番号ラベルを確認し、その情報を記録してからサービス コールをかけてください。

### Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

## サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3: ネットワークに軽微な障害が発生した、S4: 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1: ネットワークがダウンした、S2: ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、シスコのエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

## サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1): 既存のネットワークがダウンした状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2): 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3): ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4): シスコ製品の機能、インストレーション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

## その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- 『Cisco Product Quick Reference Guide』は手軽でコンパクトな参照ツールです。チャネルパートナー経由で販売される多くのシスコ製品に関する簡単な製品概要、主要な機能、サンプル部品番号、および簡単な技術仕様を記載しています。年 2 回の更新の際には、シスコの最新情報が収録されます。『Cisco Product Quick Reference Guide』の注文方法および詳細については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンラインサービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』はシスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、事例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

デジタル版には、次の URL からアクセスできます。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコシステムズが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は対話形式の Web サイトです。このサイトでは、ネットワーキング製品やテクノロジーに関する質問、提案、および情報をネットワーキング担当者がシスコの専門家や他のネットワーキング担当者と共に共有できます。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

CCSP、CCVP、Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Register、Aironet、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

Copyright © 2005-2006, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。  
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

[http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual\\_j/](http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/)

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、  
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501